

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
基礎デザイン実習B											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	2
担当教員	鶴田 勇一			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
デザイン制作会社を経て1988年より専任教員としてグラフィックデザイン分野の授業を指導している											
授業概要											
自分の手でレタリングすることで、文字の形への理解を深めていきます。様々な書体(フォント)に触れることで美的な感覚を養います。なかなかうまく描けないこともあります。まずは描かないとアドバイスが受けられないので積極的に課題制作に取り組みましょう。											
到達目標											
デザイナーが扱う文字の種類は和文(ひらがな、カタカナ、漢字)、欧文(大文字、小文字)など多彩です。文字自体の美しさについてイメージを膨らませて、それぞれの文字を構成する形にある決まりごとを覚えて、忠実に自分の手で再現できるようになります。その美しさをロゴタイプなどのオリジナルデザインに展開できるようにします。											
授業方法											
はじめに実習内容に関連する知識の説明を行う。 その後、見本と台紙を配布。制作を行う。制作中に個別にアドバイスをおこなう											
成績評価方法											
課題完成度	70%	提出課題完成度を総合的に評価する									
平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
課題制作した自身の作品は、丁寧に保管し大切に扱うこと。使用する道具と教室はきちんと管理をして常に手入れを怠らないこと。持参する道具を忘れないこと。貸し出しはしません。課題の提出期限は守ること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 筆記具・画材・定規など制作に必要な道具は各自持参											
回数	授業計画										
第1回	和文の基礎知識 書体										
第2回	文字を描く										
第3回	錯視(視覚誤差)										
第4回	文字の重心・バランス										
第5回	文字の濃度・エレメント										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
基礎デザイン実習B	
第6回	和文 ゴシック体 ひらがな
第7回	和文 明朝体 漢字
第8回	和文 明朝体 漢字
第9回	和文 明朝体 ひらがな
第10回	欧文の基礎知識
第11回	欧文 Helvetica / Univers
第12回	欧文 Gill Sans / Futura
第13回	欧文 Garamond / Caslon
第14回	欧文 Baskervill / Bodoni
第15回	コミュニケーショングラフィックの展開